

自己点検・自己評価チェック表 *各項目115pt満点

項目	内容	得点	平均
モラル	1 法人の理念を理解・共感し、それに基づいて行動していますか	80	484
	2 「職員の心遣い」を理解し遵守していますか	82	
	3 就業規則に基づき、上司の指示・命令に気持ちよく従い、職場の秩序の維持に努めていますか	81	
	4 自己の健康を管理し、維持及び回復に努めていますか	74	
	5 園児や保護者に関する個人情報、法にのっとり適性に取り扱っていますか	84	
	6 保育者の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚して関わっていますか	83	
保育・教育	7 乳幼児期の保育・教育は生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われることを理解していますか	83	531
	8 「生きる力」＝「認知能力」＋「非認知能力」を理解していますか	71	
	9 0歳（入園）から就学までの一貫した発達の連続性を考慮して、保育・教育をしていますか	76	
	10 保育・教育内容についてPDCAサイクルで質の向上に努めていますか	72	
	11 環境構成を意識した保育・教育や過程を常に工夫していますか	68	
	12 行事等保育の内容について利用者アンケートの結果等や反省をもとに改善に努めていますか	77	
	13 子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して保育していますか	84	
養護・配慮	14 発育状態・健康状態、家庭（生活）環境などを配慮し育ちを養護していますか	77	459
	15 子どもの表情や姿をよく観察し、適した温かい言葉がけをするよう心掛けていますか	78	
	16 不適切な養育の兆候が見られないか、日々子どもや保護者の様子に留意していますか	80	
	17 食物アレルギーを持つ子や特別な配慮を必要とする子など個々に応じて対応していますか	81	
	18 子どもが自分で考え、自分で行動する体験ができるような生活や遊びを心がけていますか	70	
	19 時には我慢したりするなど、子どもが折り合いをつける体験を大切にできるよう配慮していますか	73	
保護者	20 保護者の状況（生活・環境）を配慮して関わっていますか	77	465
	21 子どもの様子や活動の説明等を通じ保護者との相互理解に努めていますか	76	
	22 親しみやすい雰囲気をつくり、保護者に対し積極的に声をかけていますか	80	
	23 意見や提案については先ず肯定的に受け止め、上司に報告する等適切に対応していますか	77	
	24 保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になれるよう心掛けていますか	76	
	25 園児及び保護者との対応には、公平さを欠かさないようにしていますか	79	
リスク	26 施設・設備の安全点検を計画的に行っていますか	75	478
	27 施設内外の異常やリスクに対し、報告等適切に対応していますか	82	
	28 子どもたちの生活環境の衛生管理に留意し保持に努めていますか	82	
	29 災害・不審者侵入等緊急時における自分の役割を理解し実践に移せるよう努めていますか	75	
	30 感染症などが発生若しくは発生が疑われる時は、マニュアルに沿って対応していますか	82	
	31 子どもたちの日々の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育に努めていますか	82	
研修・研鑽	32 計画に沿った研修に参加し成果を日常の保育に活かし、子どもの育ちに反映させていますか	74	446
	33 研修会等には事前にその内容を確認し、自己課題をもって参加していますか	75	
	34 研修に参加したり専門書を読む等して様々な知識を習得したり技能の向上に努めていますか	74	
	35 活動の目標（ねらい）をクラス（園）で検討し、共通の理解を図っていますか	71	
	36 自己評価等で課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽していますか	73	
	37 自らの保育・教育実践について、同僚、上司から意見を聴くよう努めていますか	79	

S: 役割以上の業務を完了し園の評価を上昇させた A: 役割以上の業務を遂行した B: 支障なく十分に行われた C: 多少のミスや課題はあるが業務は遂行された D: 業務に支障をきたし、園の評価を低下させた

<傾向> 全体の項目平均 77.5pt

「モラル」グループ平均80.7ptと一番高い評価をしています。その中で4「自己の健康を管理し～」項目に関しては、74ptと体調不良を反省、評価しています。

「保育・教育」グループ平均76ptと全体平均より低く評価しています。11「環境構成を意識した～」項目は、昨年来進めている「非認知能力～アクティブラーニング」実践の中で改めて環境を見直していることと表れと考えます。

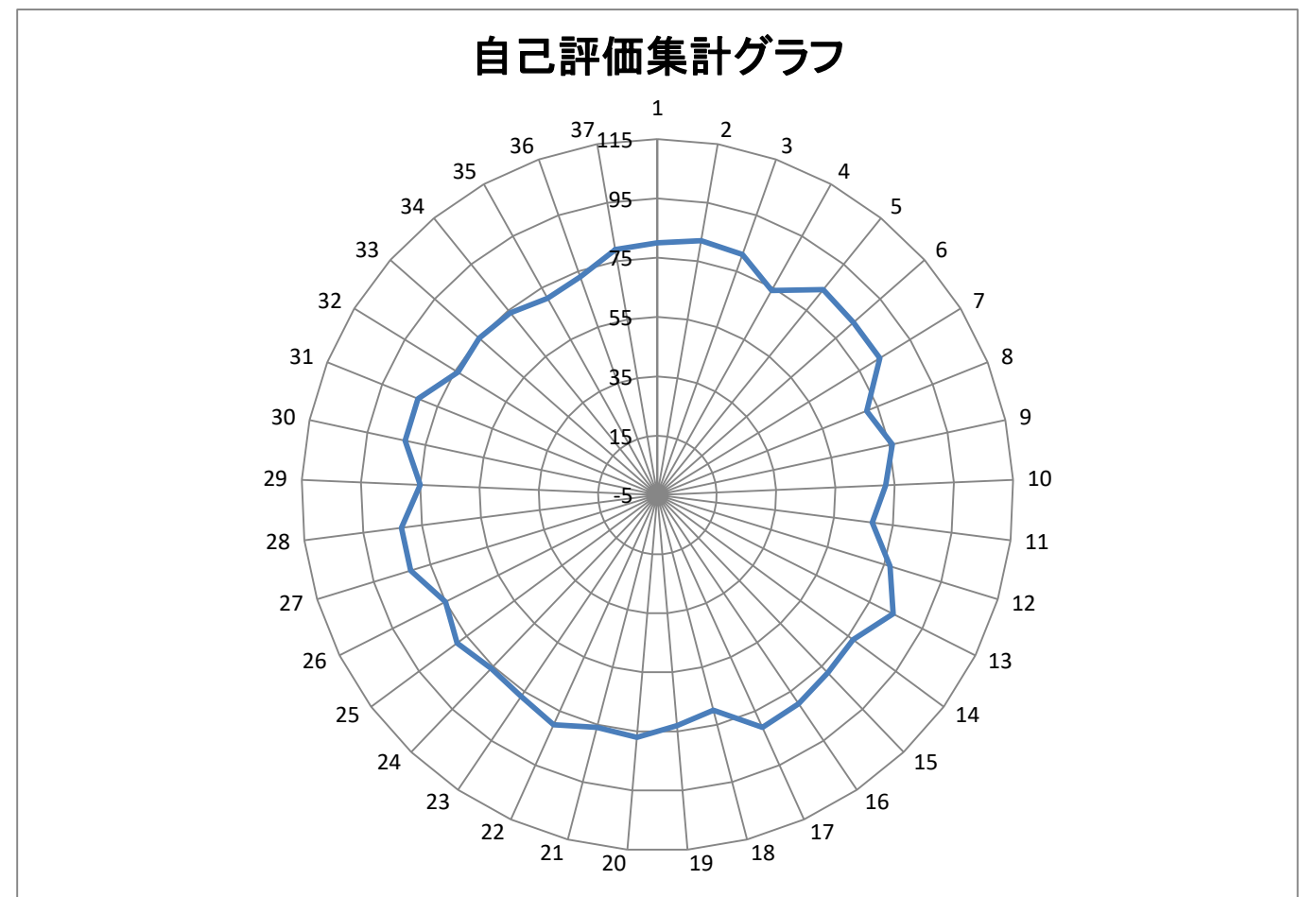
「養護・配慮」グループ平均76.5pt。中でも18「子どもが自分で考え～」項目70pt、19「時には我慢したりするなど～」項目73pt前グループ同様「非認知～アクティブラーニング」実践を進める中でのかわり方の見直しと考えます。食物アレルギーを持つ子が過去最多の8人在籍。17「食物アレルギー～」項目は意識の高さが反映されての評価と考えます。

「保護者」グループ平均77.5pt。保護者対応の大切さを意識している姿がうかがえます。22「親しみやすい雰囲気～」80pt、25「園児及び保護者～」79ptと高めに評価しているのは、「モラル」グループを高めに評価していることとの整合性を感じます。

「リスク」グループ平均79.7pt。26「施設・設備～」、29「災害・不審者～」項目75ptと低く評価。日常的に起こる災害等に対し不安を感じての評価と考えます。

「研修・研鑽」グループ平均74.3ptと最も低く評価しているグループです。35「自己評価等で～」73ptと低く評価。自己評価自体の見直しを考えさせられます。

めぐみ野こども園 <園全体>



<対策>

- 自己の健康管理に関し各自それぞれのメンタルヘルスケアはもちろん、園全体での心遣いが必要となります。ワークライフ・バランスを意識し、負担が偏らない配慮をもつ為に職場の環境、仕事量、質を見直し構成していきます。書類、様式、整理（収納方法）の簡素化を一層図ります。
- 保育・教育力の向上に向け、各研修会への課題意識をもって参加します。学びの発表でも課題をポイントに全職員に周知します。11「環境構成～」項目は、30年度より外部講師を招いての研修会等とおし学びを深めてきました。こどもたちのアクティブラーニングがさらにアップできるよう具体的な試行錯誤を繰り返しながらかかかっていきます。整備中の園庭の活用も子どもたちの「楽しみ」を第一に考えていきます。
- 18「子どもが自分で考え～」19「時には我慢したり～」できるよう、非認知能力の育ちを擁護し関わります。そのため引き続き「非認知能力指導計画（マニュアル）」を活用し関わっていきます。今年度はエピソードの記録を重点に、学びの共有を一層図るため「昼の学び」の機能強化と可能な限りの職員参加を進めます。
- 保護者支援、保護者対応に関しては、キャリアアップ研修を受けた専門リーダー・中核リーダーを中心として全職員が全保護者とよりよい信頼関係を築けるよう関わりを学び深めていきます。日常的な挨拶、言葉がけを積み重ね信頼関係の醸成に努めます。
- 様々なリスクに先ず「気づく」ことができるよう、「当たり前の状態（普通）」を意識します。また普通が普通である背景を考えます。継続してヒヤリハットの充実（質・量）に努めます。懸案の様式の改善も滞ることなく進めます。警察、消防、地域の方々からも現状を見つけていただき、指導を仰ぎながらこども・保護者が安心してすごせる園生活の確保に努めます。食物アレルギーを持つ子供に対し全職員が間違いのないよう、献立や配膳方法を変更しました。混乱の無いよう随時一覧表も更新します。献立確認もクラス担任と栄養士がそれぞれチェックし持ち寄り確認します。
- 年間計画に基づき役割、担当、職責に応じた研修会に全職員が課題意識をもって参加します。36「自己評価等で～」の低い評価から、自己評価（点検）の意味（必要性）を重ねて周知・浸透していきます。各自が自分の長所をさらに伸ばし、短所（課題）を改善できるよう体制を整え、チームワークで支えあいます。